

地域計画

策定年月日	令和7年6月16日
更新年月日	令和7年10月1日 (1回目)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	南あわじ市 28224
地域名 (地域内農業集落名)	松帆古津路 (古津路)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	30.2 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	29.1 ha
② 田の面積	26.6 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	3.6 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	4.5 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	4.2 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	1.6 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

現在の耕作者の内、離農を表明しているのは2名である。高齢化の進捗もあるが、多くは意欲をもって農業に携わっている。ただし、他地区から入り作りに来ている耕作者も多く、地域のコミュニケーションや水路、農道などの農地保全の共同的維持活動の継続にやや不安もあるが、都会にいる継承予定の担い手も努力し、活動に参加する機会が増えている。今後、地域の担い手が裏作としての野菜作りに積極的に取り組める環境づくりが必要になる。地域組織による支援体制の整備と高齢の親世代に代わる、子供世代の就農をどう実現させるかが大きな課題になっている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

古津路地域には、移住者世帯も生まれ、農業の担い手として期待される研修者が農業の基礎を学んでいる。また、40から60代世帯でも経営拡大に意欲を持ち始めている農家もいる。移住者を新規就農者として受け入れ、農家として育てていく体制づくりに取り組んでおり、模索もあるが、手ごたえも出始めている。圃場整備は早くにできており、1筆5－6反の田が多く機械化に適しており、大型で効率的な農機具の導入が地域農業発展のカギとなる。特に、タマネギの作付けに意欲を持つ農家が多く、播種、育苗などの共同作業や大型農機具の共同利用を進め、より効率的で利益の上がる農業のスタイルを確立することが必要でありそのための組織を作る。また、地域コミュニケーションを一層綿密に行い、営農情報の共有、地域としての共同事業を増やし、結束のある地域を作り、新規就農者も受け入れることにより、離農で失われる農地が生まれまいよう努力していく。スマート農業などの先進的営農スタイルも順次導入していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
高齢により、離農する農家もあるが、地域内の信頼関係を構築しながら、放棄田が生まれないような地域組織づくりに努力する。現在、営農会という多面的活動の組織、水利組合、農会などは若年層によって担われており、活発なコミュニケーションづくりが行われている。また、親世代が地域課題を整理し、今後地域計画づくりを担い、老壮一体となつて、地域営農の組織づくりを重層的に進めることに努力しており、その方針を堅持する。表作、裏作ともすべての農地が有効活用できるよう地域組織が縦横にはりめぐらされる地域をめざし、担い手の確保、育成に尽力するとともに、古津路農業振興組合を中心とした地域組織による機械の共同化を進めることで支援体制を整え、地域営農の負担軽減と効率向上を推進していく。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	22.9	%	将来の目標とする集積率
			22.9 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
基本的に個別農家がその事業継承を進めることを重視する。どうしても、そのことが無理な農地については、地域営農組織を作り、担い手として地域農業を守る。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
地域営農組織づくりを本格的に進め、共同作業、当面、タマネギ苗の播種、育苗などの作業を集約するなど効率的な農業の実現を目指す。
(2)農地中間管理機構の活用方法
個別農家の判断に任せる。
(3)基盤整備事業への取組
済んでいるが今後設備の老朽化が進んだとき、どのように施設更新をするか、大きな課題になる。補助事業などがあると助かる。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
今回の地域計画づくりを担ったメンバーを中心に経営体について、協議を始める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
個別農家の判断に任せる。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

⑦⑧水路、農道の保全、共同施設、水利ポンプや用排水設備の維持、更新などの取り組みを継続する。

⑩ 古津路農業振興組合を中心に農機具の共同化、作業支援を推進していくことで地域営農の活性化と効率向上を図っていく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
							ha		
							ha		
							ha		
							ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		29.67 ha	0 ha		31.67 ha	1 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1		水稻、露地野菜の農機具共同利用 作業請負、農作業支援	水稻 露地野菜

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	利用者		水稻	0.67 ha	ha	水稻	0.67 ha	ha	1	
2	利用者		水稻 露地	0.44 ha	ha	水稻 露地	0.44 ha	ha	3	
3	利用者		水稻	0.61 ha	ha	水稻	0.61 ha	ha	4	
4	利用者		水稻 露地	1.22 ha	ha	水稻 露地	1.22 ha	ha	5	
5	利用者		水稻 路地	0.22 ha	ha	水稻 路地	0.22 ha	ha	8	
6	利用者		水稻 路地	1.08 ha	ha	水稻 路地	1.08 ha	ha	10	
7	利用者		水稻 路地	1.84 ha	ha	水稻 路地	1.84 ha	ha	11	
8	利用者		水稻 露地	1.29 ha	ha	水稻 露地	1.29 ha	ha	12	
9	利用者		水稻 露地	1.85 ha	ha	水稻 露地	1.85 ha	ha	15	
10	利用者		水稻 露地	1.03 ha	ha	水稻 露地	1.03 ha	ha	17	
11	利用者		水稻	0.60 ha	ha	水稻	0.60 ha	ha	18	
12	利用者		水稻	0.14 ha	ha	水稻	0.14 ha	ha	19	
13	利用者		露地野菜	0.33 ha	ha	露地野菜	0.33 ha	ha	22	
14	利用者		水稻 露地	0.96 ha	ha	水稻 露地	0.96 ha	ha	23	
15	認農		水稻 露地	1.63 ha	ha	水稻 露地	1.63 ha	ha	24	
16	利用者		水稻	0.99 ha	ha	水稻	0.99 ha	ha	26	
17	利用者		水稻 露地	0.58 ha	ha	水稻 露地	0.58 ha	ha	30	
18	利用者		水稻 露地	0.41 ha	ha	水稻 露地	0.41 ha	ha	31	
19	利用者		露地野菜	0.08 ha	ha	露地野菜	0.08 ha	ha	32	
20	認農		露地野菜	0.04 ha	ha	露地野菜	0.04 ha	ha	33	
21	利用者		水稻	0.12 ha	ha	水稻	0.12 ha	ha	89	
22	認農		水稻 露地	1.56 ha	ha	水稻 露地	1.56 ha	ha	90	
23	認農		水稻 露地	0.31 ha	ha	水稻 露地	0.31 ha	ha	91	
24	利用者		水稻 露地	0.33 ha	ha	水稻 露地	0.33 ha	ha	94	
25	利用者		露地野菜	0.06 ha	ha	露地野菜	0.06 ha	ha	95	
26	利用者		水稻 露地	0.26 ha	ha	水稻 露地	0.26 ha	ha	102	
27	利用者		水稻 露地	1.14 ha	ha	水稻 露地	1.14 ha	ha	106	
28	認農		水稻 露地	0.96 ha	ha	水稻 露地	0.96 ha	ha	107	
29	利用者		水稻 露地	0.47 ha	ha	水稻 露地	0.47 ha	ha	113	
30	認農		水稻 露地	2.46 ha	ha	水稻 露地	2.46 ha	ha	114	
31	利用者		水稻 露地	0.59 ha	ha	水稻 露地	0.59 ha	ha	116	
32	利用者		水稻 露地	1.44 ha	ha	水稻 露地	1.44 ha	ha	120	
33	利用者		水稻 露地	0.88 ha	ha	水稻 露地	0.88 ha	ha	121	
34	利用者		水稻 露地	1.78 ha	ha	水稻 露地	1.78 ha	ha	127	
35	利用者		水稻 露地	1.3 ha	ha	水稻 露地	1.3 ha	ha	34	
36	利用者		水稻 露地	0 ha	ha	水稻 露地	2 ha	1 ha	35	
37				ha	ha		ha	ha		
38				ha	ha		ha	ha		